



Love Print. Live Digital.

QuarkXPress 10の新機能

目次

QuarkXPress 10の新機能.....	3
Xenonグラフィックエンジン.....	4
最新スタイルの、最適化されたユーザーインターフェイス.....	6
生産性に関する機能の拡張.....	7
その他の新機能.....	10
削除された機能.....	12
法律上の注記.....	13

QuarkXPress 10の新機能

QuarkXPress® 10では、引き続きデザイナーを制作プロセスの中心と考え、デザイナーが印刷、ePub、Kindle、またはiOSやAndroidプラットフォームのタブレットデバイス向けにデザインを行い、直接これらのデバイス向けに出版できる能力を提供しています。QuarkXPress 10では、魅力的なグラフィックス、最高レベルの生産性向上機能、創造性を際立たせるデザインキャンバスを提供するために、全面的な設計変更が行われました。QuarkXPressは、最も信頼性の高い印刷デザインおよびパブリッシング向けのツールです。QuarkXPress 10はそれに加えて、デジタルデザインおよびパブリッシング向けの最も簡単で強力なツールでもあります。

ここでは、QuarkXPress 10の新機能を紹介します。

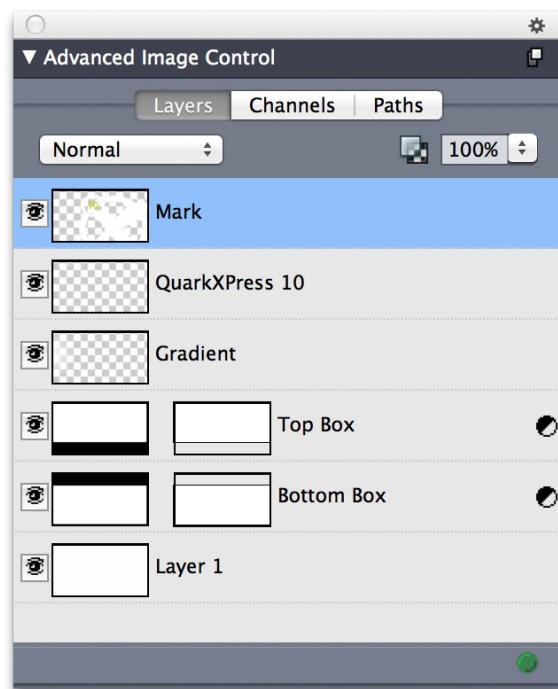
Xenonグラフィックエンジン

新しいXenonグラフィックエンジンは、最新のプロセッサテクノロジー（SSE3、AVX、マルチコアなど）を活用して、QuarkXPressの画像処理能力を大幅に拡大します。適応型解像度機能により、パフォーマンスの低下なしに高い解像度を扱うことができます。新しい**高度なイメージ制御**パレットにより、PSDファイル以外でもチャンネル、レイヤー、クリッピングパスの制御を行うことができます。QuarkXPress 10では、PDFのフォント、ベクトル、グラデーション、透明度などが詳しく認識されるため、PDFの出力時に透明度を保持することができます。



新しいXenonグラフィックエンジン

- 適応型解像度のプレビュー：QuarkXPressの適応型解像度では、グラフィックは、必要な最高解像度で、画像のズーム、切抜き、配置に合わせてリアルタイムでレンダリングされます。テキストはテキストのまま、ベクトルはベクトルのままで、プレビューも低解像度ではありません。
- PDF取り込み機能の強化：QuarkXPress 10では、データはベクトルデータとして読み書きされ、レイアウトや出力でもベクトルとして表示されます。
- 一貫した透明度のPDF：QuarkXPress 10では、最終的な出力までワークフロー全体を通して、複雑な解像度の関連が管理されます。QuarkXPress 10は取り込まれたPDFのネイティブの透明度を保持するため、制作プロセスをより柔軟に実行できます。
- 高度なイメージ制御：**高度なイメージ制御**パレットによって、PDF、TIFF、PSDファイルで、カラーチャンネルや埋め込まれたクリッピングパスを制御できます。さらに、PSD画像では、レイヤーの表示と非表示、さまざまなブレンドの適用、レイヤーの透明度の変更をすべて、元の画像ファイルに影響を与えず非破壊的に行うことができます。



高度なイメージ制御パレット

最新スタイルの、最適化されたユーザーインターフェイス

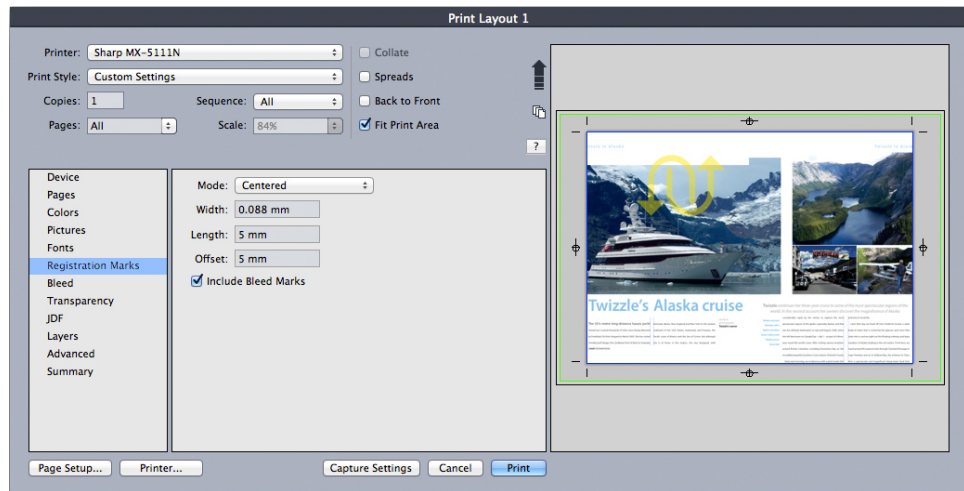
Mac OS X向けのQuarkXPressは、ネイティブのCocoaアプリになりました。Finder、Dock、他のCocoaアプリケーションなど、オペレーティングシステムの他の機能と緊密に統合されたユーザーインターフェイスを備えています。ユーザーは、新しいOSの機能を活用できます。Mac OS Xの新しいリリースや機能にすばやく対応した、まったく新しい未来志向型のアプリケーションを手に入れることができます。さらに、QuarkXPress 10はHiDPI/Retina®をサポートするようになり、新しいカラーテーマや、パレットのドッキング、全画面表示、および多くのメニューやダイアログの合理化など、多数の拡張機能が搭載されています。

- パレットのドッキング：ツールバーやパレットを、画面の端にドッキングできるようになりました。画面の端にドッキングしたパレットはグループを構成し、グループとして画面上で移動できます。
- ➔ **メジャーパレット**は、幅の関係で水平方向にのみドッキングできます。**ツールパレット**は、水平方向にも垂直方向にもドッキングできます。他のすべてのパレットは、画面の左端か右端に、垂直方向にのみドッキングできます。
- パレットのドラッグ&ドロップ：パレットをドラッグ&ドロップして、任意のパレットグループに結合できます。
- パレットウィンドウの吸着：ドッキングしたパレットには吸着機能があり、ワークスペースを整理するために利用できます。ドキュメントウィンドウでは、サイズ変更（+）ボタンを使用して、ウィンドウをパレットに吸着／吸着解除できます。ウィンドウとパレットの端の間には分割線が追加されるため、パレットのサイズを変更するとウィンドウのサイズも変更されます。
- パレットの自動表示／非表示：パレットグループは**自動的に表示**、または**非表示**になるよう設定できます。この機能は、広いワークスペースが必要な場合や、パレットを必要とときだけ表示したい場合に便利です。
- ダイアログのサイズ変更：これまではサイズが固定だった多くのダイアログが、サイズ変更可能になりました。

生産性に関する機能の拡張

ユーザーからのフィードバックを受け止め、マスターページのレイヤー、印刷プレビュー、キーアイテムの配置と間隔、不足フォントのハイライト表示など、ワークフローに大きな影響を持つ小さな詳細機能の多くに拡張を加えました。

- 最近使用したファイルを開く **(Mac OS Xのみ)** : ファイルメニューに**最近読んだ作品を開く**サブメニューが追加されました。QuarkXPress 10では、DejaVu XTを使用する代わりに、**Mac OS X**の設定が使用されます。OSドキュメント **(Apple > 最近使用したアイテム > ドキュメント)** およびアプリケーションのドッキングから、最近使用したファイルにアクセスできます。または、**ファイルメニューの最近読んだ作品を開く**サブメニューからもアクセスできます。
- **Mac OS X**メニューの拡張
 - 1 多くのメニューについて、関連するメニューアイテムをより適切にグループ化するために順序が変更されました。
 - 2 多くのコンテキストメニューは短くなり、無効なメニューアイテムの長いリストは表示されなくなりました。
- 全画面表示 **(Mac OS Xのみ)** : 多くの他の **Mac OS X**ネイティブアプリケーションと同様に、**全画面表示**への切り替えが可能になりました。複数の画面で作業する場合は、パレット用に1つの画面を使い、他の画面をレイアウト用に使用できます。デザイナーはパレットに煩わされず、レイアウトに集中できます。全画面モードではメニューバーも隠されます。
- **メジャーパレット**の拡張 **(Mac OS Xのみ)** : Cocoaへの移行の一部として、**Mac OS X**では**設定**ダイアログ、**文字属性**ダイアログ、**段落設定**ダイアログが削除されました。すべての機能は、拡張された**メジャーパレット**に移され、ショートカットもすべて**メジャーパレット**にマップされました。
- 印刷ダイアログの拡張 **(Mac OS Xのみ)** : 印刷ダイアログにページのプレビューが表示されるようになりました。



印刷ダイアログに表示されるページのプレビュー

- ページのプレビューの拡張（Mac OS Xのみ）：ナビゲーションバーに表示されるページのプレビューが拡張されました。レイアウトの左下にある**ページ番号**フィールドの横の上矢印をクリックすると、**ページナビゲーション**が開きます。プレビューの拡大／縮小が行えます。
- ツールの環境設定の拡張（Mac OS Xのみ）：アプリケーションとレイアウト用のツールのデフォルトの環境設定を、ボックスから直接設定できるようになりました。好きなようにボックスをセットアップしてから、ボックスの属性をツールの環境設定に適用できます。
- コピー元のレイヤーにペーストする：この拡張により、**レイヤーパレット**のオプションメニューに新しい設定が加わりました。**コピー元のレイヤーにペースト**オプションは、アイテムのペーストやドロップを行うときにレイヤー情報を保持するかどうかを指定します。**コピー元のレイヤーにペースト**オプションがオンのとき、レイアウト上にペーストまたはドロップされるアイテムは、コピー元と同じレイヤーに配置されます。**コピー元のレイヤーにペースト**オプションがオフのときは従来と同じ動作が行われ、クリップボードからのアイテムはすべて、現在選択されているレイヤーに配置されます。**コピー元のレイヤーにペースト**のデフォルト設定は**オン**です。この設定はアプリケーションレベルで適用され、そのコンピュータ上のすべてのプロジェクトとレイアウトに影響します。アプリケーションを再起動しても、この設定は保持されます。
- マスターページのレイヤー：マスターページでレイヤーが利用可能です。
- 図形のフリップ：このオプションは**アイテム**メニューにあり、ベジエ形状を垂直または水平方向にフリップできます。
- 作成後にスタイルシートを適用：テキストを選択して、新しい段落や文字のスタイルシートを作成すると、選択されているテキストに自動的にスタイルが適用されます。
- 要素の配置揃え：配置揃え操作の**キー**アイテムを選択できます。**キー**アイテムは、配置揃え操作のときに移動せず、**キー**でないすべてのアイテムが、**キー**アイテムと相対的に移動されます。アイテムを選択するとき、最初に選択されたアイテムが**キー**アイテムになります。すべて選択を使用した場合、最後に作成された要素が**キー**アイテムとして選択されます。
- 開いているパスの連結、拡張、またはクローズ：QuarkXPress 10では、既存の形状の終端をクリックすると、そのポイントが選択されて通常の描画モードが開始され、次にクリックすると、選択したラインに新しいポイントとセグメントが追加されます。ユー

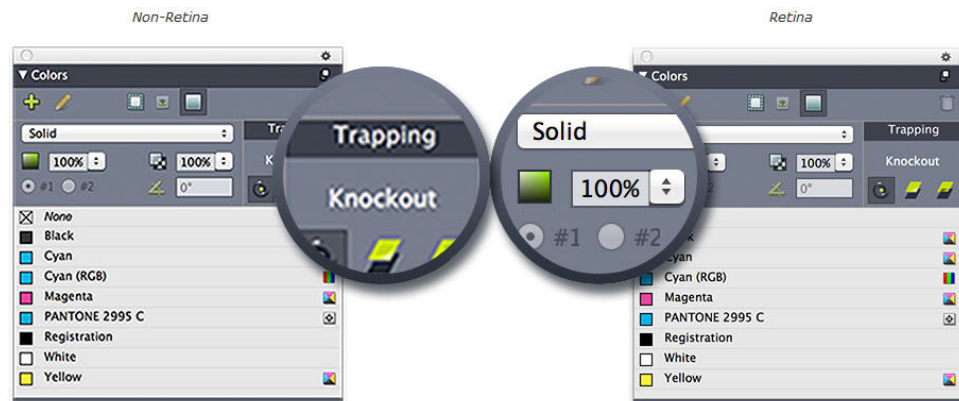
ザーは、必要なだけクリックを繰り返して好きなだけセグメントを追加できます。ダブルクリックすると、ラインは開いたパスとして完了します。反対側の終端をクリックすると、パスがクローズされます。これは、元の描画操作で行うのと同様です。描画中に、別のオープンなパスの終端をクリックすると、描画中のパスと、クリックしたパスとが連結されます。これらの方法を組み合わせて、パスを拡張して別のパスと連結することができます。

- 全画面のサイズ変更可能な色選択によるカラーの**編集**と新しいカラーの**作成**：全画面表示を利用して、QuarkXPressでカラーを追加および編集できます。

その他の新機能

QuarkXPress 10には、次のような新機能と機能拡張も含まれています。

- Retina対応のUI **(Mac OS Xのみ)** : QuarkXPress UIは、高解像度のRetinaディスプレイを備えたAppleコンピュータに対応しています。



Retinaディスプレイのサポートの比較

- より多くのフォントスタイルのネイティブサポート **(Mac OS Xのみ)** : QuarkXPress 10では、すべてのフォントとファミリー名が正しく一覧表示されます。Font Bookからフォントを無効にすると、QuarkXPress 10のフォントリストからも削除されます。
- MS Word Filterの拡張 : Microsoft Wordファイルから画像をインポートしたとき、ハイパーリンクが保持されるようになりました。
- Mac OS Xのファイル拡張子 **(Mac OS Xのみ)** : すべての保存/書き出しダイアログで、ファイルを拡張子付きで保存できるようになりました。
- レイアウトタブの順序の変更 **(Mac OS Xのみ)** : QuarkXPressプロジェクトのレイアウトタブに表示されるレイアウトの名前のタブをドラッグ&ドロップすると、レイアウトの順序をレイアウトタブ内で変更できるようになりました。この設定はドキュメントと共に保存され、順序が保持されます。
- 不足フォントのハイライト表示 : **使用状況**パレットを使用しなくても、不足フォントを見つけられるようになりました。**環境設定**で**未定義キャラクタの代替**を選択し、不足フォントを使用しているテキストのハイライトを設定すると、すぐに見つけられるようになります。
- **字形**パレットに常にUnicode値を表示 : 選択されている文字の**Unicode**値は**字形**パレットに常に表示され、ユーザーがツール・ヘルプを使用する必要はありません。
- テキストをIMEへ転送して再変換を行う : QuarkXPress 10では、IME変換のサポート(日本語、韓国語、中国語のテキスト用)が追加されました。ユーザーは確定済みのテ

キストの読みを、元の状態に戻すことができます。Windowsでは、補助メニューとコンテキストメニューで使用できます。Macでは、IMEメニューで使用できます。IMBのショートカットとキーボードもサポートされます。

- CJK機能の有効/無効化：QuarkXPress 10では、レイアウト作成者が縦組み、ぶら下がり文字、約物の幅の処理、テキストの読み方（ルビ）、フォントセット、文字グリッド、縦組み用グループ化文字、インテリジェントなフォントマッピングなどの、東アジア言語の組版における概念を使用できます。これらの機能は、従来は東アジア、グローバル、簡体字中国語版のQuarkXPressでのみ利用できたものです。新しいバージョンでは、**環境設定**の専用の設定を使用して、UIをコントロールできるようになりました。
- プログラム言語の設定（Mac OS Xのみ）：QuarkXPressの従来のバージョンでは、編集メニューの**表示言語**で言語を変更できました。Mac OS Xではこのオプションは削除され、QuarkXPressはアクティブなOS言語で（その言語がサポートされていれば）自動的に起動するようになりました。
- QRコードの作成：ベクトル形式の**クイックレスポンス**（QR）コードを直接QuarkXPressで作成し、好みのスタイルやカラーにできます。URL、SMS、vCardなど、テキストQRコードにも対応しています。
- 修正ポルトガル語のハイフネーションとスペルチェックへの対応：環境設定で、修正ポルトガル語を使用するオプションを設定できます。
- 最新のPantoneカラーライブラリ：QuarkXPress 10には、Pantoneから受け取った最新のカラーライブラリが統合されています。この更新には、336の新しいPantoneカラーが含まれています。
- ePub書き出しの拡張：QuarkXPress 10ではアンカーと、それらのアンカーを指し示すハイパーリンクが正しく変換されます。これによってデザイナーは、eBookの特定の場所を、用語集や索引など別の場所へリンクできます。
- App Studioレイアウトのバックグラウンドカラー：QuarkXPress 10では、参照されているApp Studioレイアウトについて、プレビュー専用のバックグラウンドカラーをユーザーが設定できます。

詳しくは、『QuarkXPress 10ガイド』または
www.quark.com/support/documentationを参照してください。

削除された機能

以下の機能は、QuarkXPress 10から削除されました。

- Webおよびインタラクティブレイアウトのサポート：QuarkXPress 10では、Webおよびインタラクティブレイアウトのサポートが廃止されました。Webやインタラクティブレイアウトを含む旧形式のドキュメントを開くことはできません。これらのドキュメントは、QuarkXPress 10で開く前に、旧バージョンで印刷レイアウトに変換する必要があります。
- 書籍のサポート：書籍のサポートは廃止されたため、旧形式の書籍をQuarkXPress 10で開くことはできません。
- PPDマネジャー（Mac OS Xのみ）：PPDマネジャーは、Mac OS X用のQuarkXPress 10から削除されました。
- 画像効果パレット：画像効果パレットは、QuarkXPress 10から削除されました。1つ以上の画像に画像効果が適用されている旧形式のドキュメントを開くと警告が表示され、すべての効果と調整は取り除かれます。
- 旧形式ドキュメントのサポートの変更：QuarkXPress 6およびそれ以前で保存したドキュメントを開くことはできません。古い形式は、サポートされている形式で保存する必要があります。

法律上の注記

©2022 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、7,463,793およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他の各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

当ソフトウェアアプリケーションまたはユーザーのドキュメントに表示されるPantone® Colorの表示は、PANTONE標準色とは合致しない場合があります。正確な色については最新のPANTONE色見本帳を利用してください。PANTONE®およびその他のPantoneの商標は、Pantone LLCに帰属します。© Pantone LLC, 2010が著作権を有します。

カラーデータおよび/またはソフトウェアの著作権は、Pantoneが所有しています。Quark Software, Inc.はライセンスに基づき、Quarkソフトウェアとの併用に限定して配布を許可されています。Quarkソフトウェアによる作業の一部でないかぎり、PANTONEカラーデータおよび/またはソフトウェアをディスクまたはメモリに複製することは禁じられています。